

第三者割当による第3回新株予約権発行 (行使価額修正条項付) に関する補足説明資料



株式会社グッドスピード (7676)

2021年11月12日

目次

会社概要 P 03

本調達について P 07

補足資料 P 12

Q&A P 20

会社概要

事業

SUV中古車小売販売を主軸。クルマ・バイクにおける「安心・快適・楽しいカーライフ」の提供と定義



販売チャンネル

SUV専門店など、ジャンルを絞った専門特化型店舗を展開。清潔で明るく、取扱車種に合わせたデザイン性の高いショールームを設置。



拠点

東海エリアを中心に、38拠点を展開 (2021年11月12日時点)



業績推移

(単位：百万円)



※当社は2021年9月期第2四半期より連結決算に移行しております。そのため2020年9月期以前の実績は、単体業績を参考表示しております。

2021年9月期 連結業績（前期対比）

MEGA専門店の新規出店、各事業の伸長により増収増益、四輪小売販売台数増で着地しました。

単位：百万円

	2020年9月期 実績	2021年9月期 実績	前期比	増減
売上高	33,704	44,778	132.9%	11,073
売上原価	28,726	37,716	131.3%	8,990
売上総利益	4,978	7,061	141.8%	2,083
販売費及び一般管理費	4,854	6,453	132.9%	1,598
営業利益	124	608	489.9%	484
経常利益	3	445	13,442.1%	442
親会社株主に帰属する 当期純利益	△24	381	-	405
四輪小売販売台数	10,973台	12,854台	117.1%	1,881台
二輪小売販売台数	41台	904台	2,204.9%	863台

前期4月以降に出店したMEGA 専門店3店舗が寄与したことなどにより、四輪小売販売高は増収(+22.9%)。また、前期2Q以降に出店した買取専門店、バイク販売店、当期グループ入りした(株)チャンピオン76が寄与したこと、整備・钣金などの附帯サービス関連が増収し、全事業において増収

人件費および店舗の固定費が増加

2021年3月 株式会社チャンピオン76の子会社化に伴い、**負ののれん発生益111百万円**計上

※当社は2021年9月期第2四半期より連結決算に移行しております。そのため2020年9月期実績は、単体業績を参考表示しております。

中長期の成長イメージ

既存事業を積み上げるとともに、グッドスピードブランドを活かした大きな成長を目指します。

重点課題：ブランドの構築



新規出店攻勢により、主力事業となる四輪中古車販売のシェア拡大と顧客の囲い込みを推し進めながら、グッドスピードのブランド価値を高め、チャンネル拡大・新サービス投入などに積極的にチャレンジし、大きな成長を目指す

④新サービス

グッドスピードブランドを活かした新たなカーライフの提案

③チャンネルの拡大

バイク、新車ディーラー、レンタカー、サブスクなど

ノウハウを活用し、新たな領域へチャレンジ

②付帯サービス

整備・車検・钣金・塗装
・ガソリンスタンド

顧客の囲い込み

①四輪 中古車販売

= 現在の主力事業

新規出店、小売販売台数拡大

現在 → 将来

中期3ヶ年 KPI目標

売上高、小売販売台数の每期**20%**以上の成長、営業利益率の**每期改善**を目指してまいります。

	2021年9月期 実績	2022年9月期 業績予想	2023年9月期～2024年9月期 計画
連結 売上高	44,778 百万円	60,000 百万円	每期 成長率 20% 以上
連結 営業利益	608 百万円	1,000 百万円	每期 営業利益率 改善
四輪 小売販売台数	12,854 台	17,243 台	每期 成長率 20% 以上
MEGA専門店新規出店	2 店舗	3 店舗	每期 3 店舗以上

資金・財務の考え方

- ・最も重要な成長ドライバーは「MEGA専門店の新規出店」による小売販売台数の拡大。
- ・MEGA専門店新規出店は、商品在庫/固定資産により1店舗 10億円以上の投資が必要。営業活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フローはMEGA専門店出店によりマイナスが続き、財務活動によるキャッシュフローで賄う見通し。
- ・資金調達には、経営の安定性（自己資本比率）ならびに効率性（ROE）を総合的に勘案し、適宜、金融借入・市場調達を選択しながら調達を行う予定。

about Finance

本調達について



本調達の詳細

発行方法		大和証券株式会社に対する第三者割当
発行概要	想定調達額	約1,302百万円（差引手取概算額）
	新株予約権個数	6,300個
	潜在株式数	630,000株（対発行済株式総数 20.15% ※1）
	行使可能期間	約2年（割当日の翌銀行営業日～2023年12月4日）
行使価格	当初行使価額	条件決定基準株価の100% ※2
	行使価額の修正	各行使請求の効力発生日の直前取引日の当社普通株式の終値の91%に相当する額
	上限行使価額	なし
	下限行使価額	条件決定基準株価の70%
その他	取得条項	当社の判断で残存する新株予約権の取得・償却が可能
	取得請求	発行後1年後以降で株価が下限行使額を下回った場合および行使期間満了の1ヶ月前時点で未行使の新株予約権を保有している場合、割当予定先は残存する新株予約権の取得請求が可能
	行使停止条項	当社から新株予約権を更新することができない期間を指定

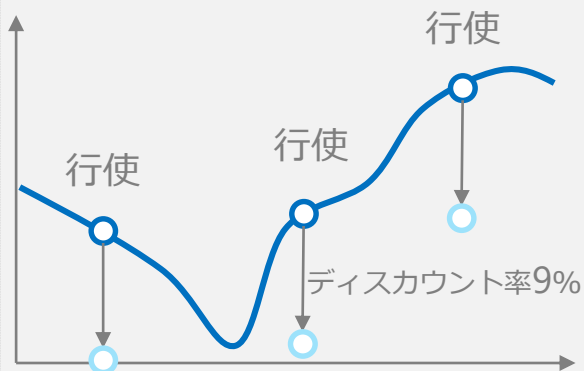
※1 2021年10月31日現在の発行済株式総数 3,125,900株を基準に算出しております。

※2 2021年11月11日の東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値又は条件決定日の直前取引日の東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値（同日に終値がない場合には、その直前の終値）のいずれか高い額に相当する金額

本調達の詳細

行使価額の修正条項

- 行使時の株価
- 行使価額



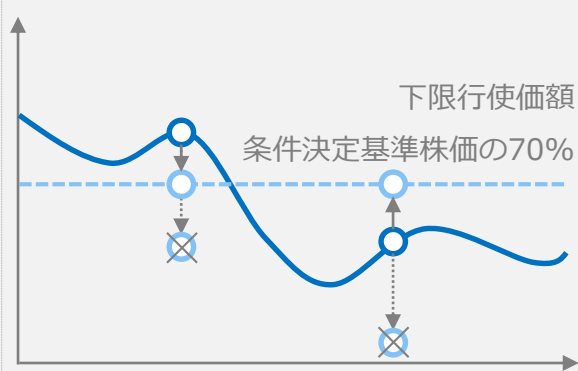
割当先(大和証券)は、市場動向や投資家動向を踏まえた上で新株予約権の行使を行います。

割当先は、各行使請求の効力発生日の直前取引日の終値の91%に相当する価額で新株を得ます。

割当先は、行使によって得た株式を株価動向等を勘案しながら適宜売却していく方針です。

下限行使価額

- 行使時の株価
- 行使価額

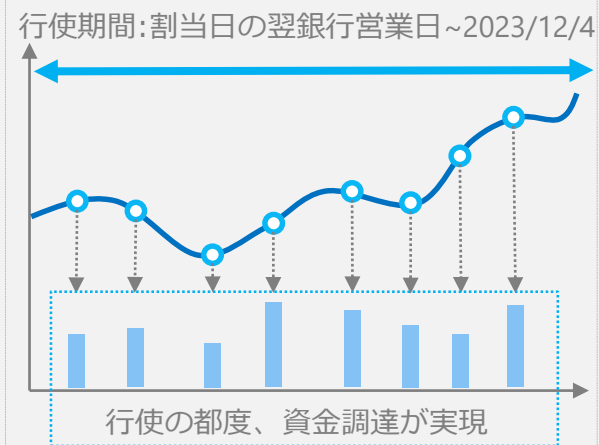


本新株予約権の下限行使価額は条件決定基準株価の70%となっています。

修正後の価額が下限行使価額を下回る場合、行使価額は下限行使価額となります。

行使期間

- 行使のタイミング



本新株予約権の行使期間は割当日の翌銀行営業日から2023年12月4日です。本新株予約権を行使できるのはこの行使期間の間のみです。

割当先が新株予約権を行使する都度、当社に行使分が払い込まれます。

本新株予約権個数ならびに新株予約権1個あたりの交付株式数は固定されているため、行使時の株価水準に応じて、式調達額が変動します。

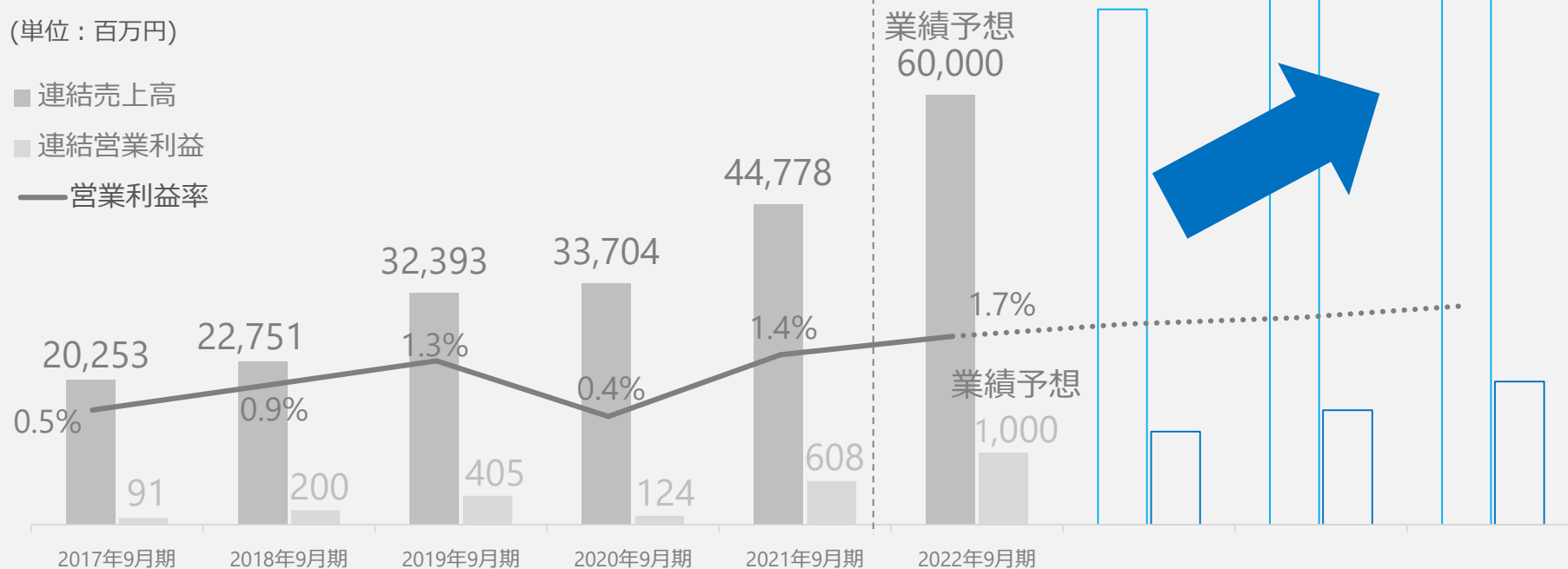
本調達之目的

今回の資金調達により自己資本を増強し、新規出店のスピードアップを図り、中期計画の達成の実現確度を高めてまいります。

	2021年9月期 実績	2022年9月期 業績予想	2023年9月期～2024年9月期 計画
連結売上高	44,778 百万円	60,000 百万円	每期 成長率 20% 以上
連結営業利益	608 百万円	1,000 百万円	每期 営業利益率 改善
四輪 小売販売台数	12,854 台	17,243 台	每期 成長率 20% 以上
MEGA専門店新規出店	2 店舗	3 店舗	每期 3 店舗以上

(単位：百万円)

- 連結売上高
- 連結営業利益
- 営業利益率



※当社は2021年9月期第2四半期より連結決算に移行しております。そのため2020年9月期 以前の実績は、単体の数値を参考表示しております。

本調達の具体的な資金使途

■ 資金使途：運転資金 (小売用商品車両の仕入)

今回の調達資金は、今後のMEGA専門店の新規出店に係る商品仕入のための運転資金に充当する予定です。

なお新規出店の際には、別途固定資産の取得に係る資金が必要になりますが、それらは金融借入で調達の予定です。これは、一般的に運転資金と設備投資では、設備投資の方が金利条件が良いことから、総合的な調達コストを勘案し、設備投資は金融借入で調達すること、本調達資金を運転資金に充当することが望ましいと考えているためです。

■ 支出予定時期：2022年4月~2023年11月

MEGA専門店は、在庫台数200台以上としており、新規出店時には1店舗あたり400百万円以上(2百万円×200台以上)の商品仕入が必要となります。

当社グループのMEGA専門店は、2022年9月期以降に每期3店舗以上の出店を計画しており、2022年9月期の愛知県豊川市、愛知県名古屋市、岐阜県土岐市ならびに2023年9月期のMEGA専門店の商品仕入のための運転資金に充当することを考えております。本新株予約権の権利行使が想定通りに進まず上記記載のMEGA専門店の出店が完了した場合、2023年9月期以降のMEGA専門店に係る商品仕入れのための運転資金に充当する予定であります。

※ 支出予定時期については現時点における予定であり、具体的な金額及び使途については、本新株予約権の行使による財産の出資がなされた時点の状況に応じて変更される場合があります。なお、結果として当社が希望するような規模での資金調達が出来ない場合、不足分については、自己資金や銀行借入等により調達を行い、充当することを想定しています。

※また、調達金額が支出予定金額を超過した場合には、その時点で適切な使途を検討のうえ、開示いたします。なお、本新株予約権の行使が行われないことにより、仮に調達する資金が減少した場合、又は権利行使期間に本新株予約権が全く行使されない場合においても、直ちに当社グループの財務基盤に影響を与えるものではありません。



appendix
補足資料

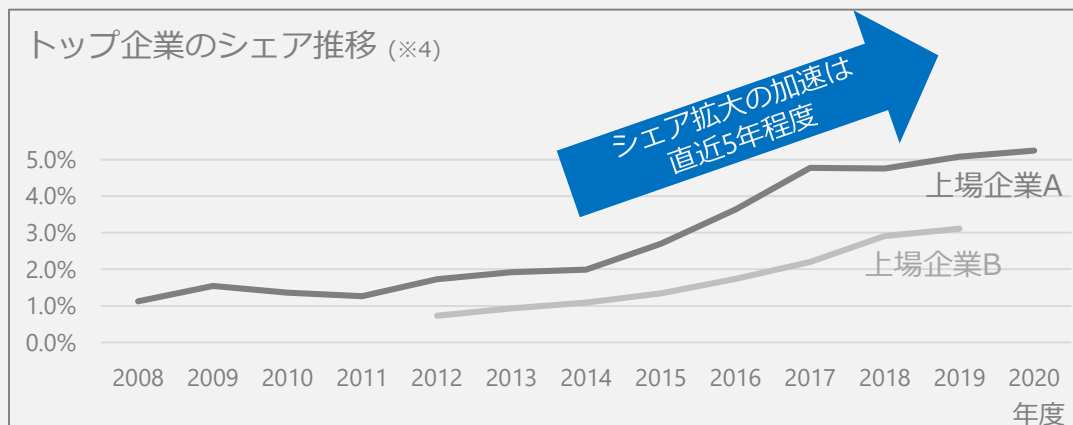


中古車販売店の状況

中古車販売店は、小規模店が乱立する**多数乱戦状態**です。大手企業のシェア拡大が本格的に始まったのは**直近5年程度**、シェアも約**5%**。**当社が入り込む余地は大きい**と考えております。



- ・ 中古車販売店は、全国で約**27,000店**(※2)。
- ・ 最大手の年間販売台数は10万台規模、シェア約**5%**(※3)。



※1 2019年の中古車小売市場規模。株式会社矢野経済研究所推定

※2 株式会社矢野経済研究所『中古車流通総覧 2020年版』より当社推定

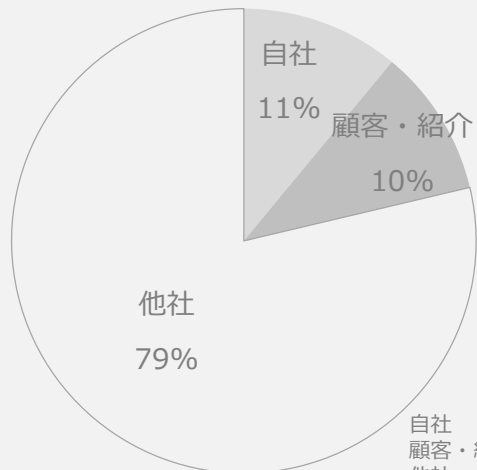
※3 各社の発表資料等より当社調べ

※4 各社の発表資料等より当社調べ。各社決算月が異なるため、期初の日付を基準に「年度」に当てはめて表記

資本力のある大手企業が競争優位に立つ理由

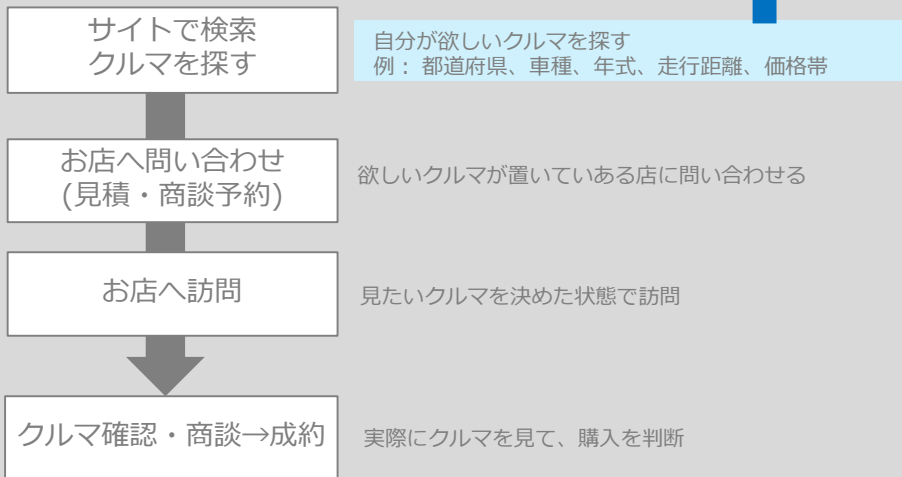
在庫を豊富に持ち、ポータルサイトで顧客から選ばれることが重要であると考えております。

来店・購入のきっかけ (四輪小売販売 2021年9月実績)



自社 ……当社Webサイト、店舗への直接訪問など
 顧客・紹介 ……顧客の再販(リピート)、顧客からの紹介
 他社 ……中古車ポータルサイト

<一般的なポータルサイトでのクルマの探し方>



ポータルサイトの車両絞り込み画面 (例)

トヨタ ハリアー (愛知県) の中古車

● 2020年6月～生産モデル
 ● 価格相場情報
 平均価格：385万円
 価格帯：259万円～595万円
 ● みんなの評価
 総合評価 ★★★★★ -点
 デザイン：. 走行性：. 居住性：.
 積載性：. 運転のしやすさ：.
 維持費：.
 ● カタログ情報
 JC08モード燃費：26.3～27.4km/l
 10・15モード燃費：.
 排気量：1986～2487cc

● それ以外のモデルを見る ● 詳しく見る ● 詳しく見る ● 詳しく見る

メーカー 車名 ハリアー モデル・グレード 選択する 年式 下限なし ~ 上限なし
 地域 愛知県 市区町村 選択する 走行距離 下限なし ~ 上限なし

ミッション AT/CVT MT
 新着物件 未登録車
 支払総額あり メーカー系販売店
 修復歴なし クーポン付き
 車両品質評価書 付き 購入プラン付き
 カーセンサーアフター保証対象車
 360°画像付き車両
 オンライン相談可

価格 下限なし ~ 上限なし
 本体外色

出典：カーセンサー.net

車両状態評価書付き ●
 360度画像対応 ●

グー鑑定 ● グー保証 ●
 ディーラー ●

オンライン予約
 来店予約 試乗 同乗試乗

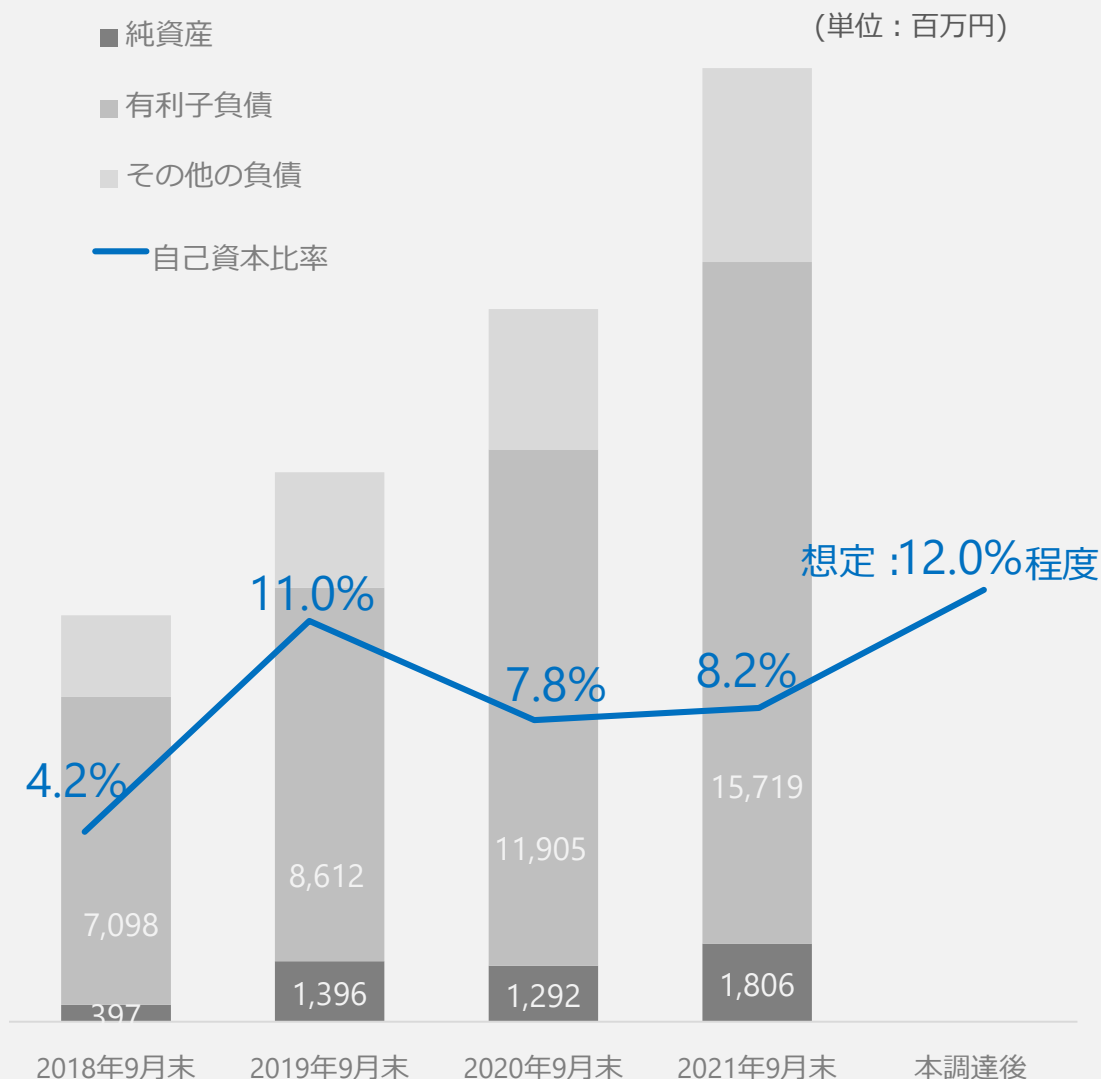
支払総額表示有 ● 新車

車体外色

株式会社プロトコーポレーションより提供

自己資本比率の推移

2021年9月末の自己資本比率は8.2%になりました。本調達後の自己資本比率は12%程度まで引き上がると想定しており、借入余力の拡大を期待しております。



本調達後、自己資本比率8%までの借入を行う場合、2021年9月末の状態から200億程度の借入余地を期待

MEGA専門店のライフサイクル

成長戦略の基本 = 「MEGA専門店」の新規出店

※ 「MEGA専門店」の定義…敷地面積2,000坪以上、展示台数常時200台以上

MEGA専門店が獲得する売上利益の推移(イメージ)

附帯サービス関連は、経年で積み上がる

安定化

<出店後の平均的な業績>

出店直後の1年間では、概ね売上高30億程度、営業利益2億円(本部費配賦を除く)。

そのため減価償却費を加味すると出店3~4年で初期の固定資産投資額を回収可能

<出店コスト>

居抜き物件、土地・建物が賃貸の場合

①固定資産投資 7億円程度

②商品仕入 4億円程度

初期投資

1年目

2年目

3年目

4年目

5年目

6年目

7年目

...

■ 固定資産取得

■ 商品仕入

■ 自動車販売関連

■ 附帯サービス関連

ユーザーのカーライフサイクル

付帯サービス関連を継続的に提供して顧客と接点を持ち、ストック型で収益を積み上げます。

買い替えサイクル 約7年^(※1)



※1 2019年度「乗用車市場動向調査」一般社団法人 自動車工業会、前保有車の保有期間平均 7.1年

※2 各単価および発生頻度は、当社における標準的な数値を表示しています。

※3 各単価は、法定費用、消費税、その他税金等を除いた金額を表示しております。

調達前後での出店可能ペースの変化

本調達により、出店ペースの引き上げを確実に遂行することが可能になると考えております。

①本調達の実行前	2018年9月期 (実績)	2019年9月期 (実績)	2020年9月期 (実績)	2021年9月期 (実績)	今後の想定 【①本調達の実行前】
営業活動による キャッシュ・フロー	△318	△502	△1,745	△65	MEGA専門店は1店舗につき10億円以上の投資 ▼ 将来的な懸念事項 ・金融借入余地の限界 ・融資条件の悪化
投資活動による キャッシュ・フロー	△484	△1,611	△1,910	△3,445	
財務活動による キャッシュ・フロー	1,152	2,277	3,103	3,882	
自己資本比率 (期末)	4.2%	11.0%	7.8%	8.2%	継続的な低下 または限界

②本調達の実行後	2018年9月期 (実績)	2019年9月期 (実績)	2020年9月期 (実績)	2021年9月期 (実績)	今後の想定 【②本調達の実行後】
営業活動による キャッシュ・フロー	△318	△502	△1,745	△65	毎期 MEGA専門店 4億円×毎期3店舗以上
投資活動による キャッシュ・フロー	△484	△1,611	△1,910	△3,445	毎期 MEGA専門店 7億円×毎期3店舗以上
財務活動による キャッシュ・フロー	1,152	2,277	3,103	3,882	借入余地の拡大を期待 (200億円以上)
自己資本比率 (期末)	4.2%	11.0%	7.8%	8.2%	2022年9月期末時点 12%程度を想定

※当社は2021年9月期第2四半期より連結決算に移行しております。そのため2020年9月期以前の実績は、単体業績を参考表示しております。

成長に影響を与える可能性のある主なリスク

項目	主要なリスク	可能性	時期	影響度	リスク対応策
車両仕入のオートオークションへの依存	各会場の規約に抵触し、取引停止等の処分を受けるリスク 供給減少による仕入価格の上昇が起こった際、当該上昇分を販売価格に転嫁出来ないリスク	低	中期	大	<ul style="list-style-type: none"> ・業務手続の整備、規約遵守 ・買取事業の強化
有利子負債への依存	金融政策の変更等により市中金利に変動し、支払利息が増加するリスク	低	中期	中	<ul style="list-style-type: none"> ・取締役会での十分な協議・検討 ・市場調達（自己資本比率改善）
人材獲得及び育成	人材獲得競争が激化し、期待する優秀な人材を獲得できない、もしくは採用コストが増加するリスク 従業員の育成に時間を要するリスク	低	中期	大	<ul style="list-style-type: none"> ・人事制度の継続的改善 ・適切な採用コストの管理 ・教育研修制度の継続的改善
消費嗜好、生活スタイルの変化	燃料価格の高騰により消費者が嗜好する車種が変化するリスク 生活スタイルの急速な変化により自動車そのものに対するニーズが低迷するリスク	低	長期	大	<ul style="list-style-type: none"> ・販売チャンネルの拡充 ・付帯サービス関連事業の拡大 ・顧客の囲い込み
同業他社との競合	同業他社との競争が激化するリスク	中	短期	中	<ul style="list-style-type: none"> ・専門特化型店舗の展開 ・地域販売シェアの拡大 ・アフターサービスの充実

その他のリスクにつきましては、第18期（自 令和元年10月1日 至 令和2年9月30日）有価証券報告書（令和2年12月28日）第一部 企業情報 第2 事業の状況 2 事業等のリスクに記載しております。

Q&A

新株予約権のQ&A



新株予約権のQ&A (1)

No.	質問	回答
1	発行価額とは、新株予約権の行使により発行される株式の対価（株価）ということでしょうか。	<p>発行価額とは新株予約権という権利の値段であり、新株予約権の行使により発行される株式の対価（株価）とは異なるものです。割当先である大和証券株式会社が新株予約権を取得するにあたり、かかる権利の購入対価として当社に支払う価格となります。また、大和証券株式会社が新株予約権を行使して取得する（新株予約権の権利を行使する）際に、当社に支払う価格を「行使価額」といい、これが今般の資金調達で発行される株式の対価として当社が獲得するものとなります。</p> <p>今般の資金調達において、下限行使価額は条件決定基準株価の70%に設定されていますので、当社の株式が条件決定基準株価の70%よりも低い価額で発行されることはありません。</p>
2	発行価額の水準は割当予定先にとって有利ではないのでしょうか。	<p>発行価額はディスカウント率9%等を考慮に入れた上で評価しており、かかる評価は、第三者評価機関(株式会社ブルータス・コンサルティング)に依頼しております。かかる評価を参考として決定した発行価額は割当予定先に特に有利な発行条件ではないと考えております。</p>
3	他の資金調達手法を採用しなかったのはなぜですか。	<p>当社はかねてより、資金調達については、経営の安定性(自己資本比率)ならびに効率性(ROE)を総合的に勘案し、適宜、金融借入・市場調達を選択することとしておりました。2021年9月期末時点の自己資本比率は8.2%となり、財務体質は決して盤石とはいえない状態であることから、資本市場からの調達を選択することが望ましいと判断したためです。</p> <p>また公募増資等では一度に希薄化が進み、株価に与える影響が大きくなりうる点に加え、調達にかかるコストや準備期間などが相当に要することがあります。</p> <p>一方、本新株予約権においては、行使の分散や下限行使価額の設定等の仕組みにより株価への影響の軽減が期待されます。資本調達に際して株価への影響を可能な限り低減できると考えられる仕組みを導入し、将来の株価上昇メリットを1株当たり調達金額の上昇として享受することが可能な仕組みを採用することは、既存株主の利益につながると考えております。一般に、既存の株主に一時的にご迷惑をおかけする調達であることは承知しておりますが、長期的な視点で今後の当社の成長にご期待いただきますようお願い申し上げます。</p>

新株予約権のQ&A (2)

No.	質問	回答
4	本新株予約権の行使価額の修正及び行使状況を確認する方法はありますか。	<p>新株予約権発行後、毎月初に前月の月間行使状況を開示いたします。月初からの行使累計新株予約権数が630個(発行新株予約権数である6,300個の10%)以上となった場合にもその都度行使状況を開示いたします。</p> <p>割当予定先は、同社及び共同保有者の株券保有割合が5%を超えた場合には大量保有報告書を提出し、以降株券保有割合が1%以上増減する等の変動が生じるたびに変更報告書を提出します。これらの書類を読むことにより、その時点における同社が保有する新株予約権の数量、潜在株式を含めた保有株数を確認することができます。</p> <p>なお、当社が行使停止を行った場合には、速やかにその内容を開示する予定です。</p>
5	貸株・空売り等は行われますか？	<p>本新株予約権の権利行使により取得する当社株式の数量内で行う売付け等以外の本件に関わる空売りを目的として、当社株式の借株は行わないことを、割当予定先である大和証券株式会社から確認しております。</p>
6	新株予約権とは何ですか？	<p>新株予約権とは、発行会社に対してそれを行行使することにより、当該発行会社の株式の交付を受けることができる権利です。</p> <p>本新株予約権の割当予定先である大和証券株式会社が当該権利を行行使することで、当社は行使価額相当の金銭の払込を受け、大和証券株式会社に当社普通株式を交付します。これにより当社は資金調達および資本増強を行います。</p>

免責事項

将来予測について

本資料で提供されている情報には、将来の見通しに関する情報が含まれています。これら歴史的事実以外の情報は、当社が属する業界の競争、市場、諸制度に係るリスクや不確実性による影響を受ける可能性があります。その結果、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および推測に基づく見込みは、将来における実際の成果および業績とは異なる場合があり得ることをご承知おきください。

本資料取り扱い上の注意

本資料は、当社の第三者割当による第3回新株予約権(行使価額修正条項付)発行に関する情報提供を目的としたものであり、一切の投資勧誘又はそれに類似する行為を目的とするものではありません。

本資料および当社IRに関するお問い合わせ先

株式会社グッドスピード 管理本部 松井、高橋

Tel : 052-933-4092

Mail : ir@goodspeed-group.co.jp